

- ⑤年度から年度への指導力の継続性を保つ。
- ⑥クラブの運営を反映するよう細則を修正する。
- ⑦定期的な親睦の機会を提供する。
- ⑧全会員が積極的に参加する。
- ⑨定期的かつ首尾一貫した研修を提供する。

C・L・Pの目標は、各奉仕部門に沿って活動を遂行することで、以下を遂行することによってロータリーの綱領を果たすことができます。①会員基盤を維持、拡大する。

- ②地元地域社会ならびに他の国々の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施、成功させる。
- ③資金の寄付およびプログラム参加を通じてロータリー財団を支援する。
- ④クラブの枠を超えてロータリーにおいて奉仕できる指導者を育てる。

C・L・Pは各奉仕部門における目標を達成するためのクラブの力を高める一助となります。手続きの合理化、より円滑な情報伝達、長期計画の策定、関与する会員の増加によって、クラブ奉仕がさらに改善されます。能率的に運営されるようになれば、奉仕活動を一層効果的に実施することができます。

クラブ・リーダーシップ・プランの利点

現在のクラブ運営を見直す機会を与えるC・L・Pはクラブに数々の利点をもたらします。

- ①クラブの将来について、すべての会員に意見を述べるチャンスが与えられる。
- ②クラブの運営を簡素化することによって、奉仕と親睦に集中するための、より多くの時間を会員にあたえる。
- ③クラブ会員がより一層関与することによって、将来のクラブ、地区指導者が育成される。
- ④クラブ活動に会員がより多く参加するに連れ、会員保持率が高くなり、退会防止につながる。
- ⑤クラブ指導者は、クラブ目標を達成するために、より多くの会員の協力を得ることができる。
- ⑥任命とクラブ目標の間に継続性を持たせることによって、ある年度から次の年度への移行が容易になる。

- ⑦クラブの慣習を新鮮な目で見直すことによって、ロータリーへの熱意が新たになる。

プランの施行

元、現在、次期クラブ役員が共に協力し、次のようなC・L・Pの形(修正)にします。

- ①効果的なクラブの要素に取り組む長期目標を立案する。
- ②効果的なロータリークラブとなるための活動計画を活用し、クラブの長期目標と調和する年次目標を設定する。
- ③計画過程に会員を関与させクラブ協議会を実施し、ロータリーの活動に関する情報を随時伝える。
- ④クラブ役員、クラブ会員、地区指導者の間の明確なコミュニケーション(連絡)を保つようにする。
- ⑤将来の指導者育成を確実にする一貫した引継ぎ計画の概念を含め、指導者の継続性を確保する。
- ⑥クラブ委員会構成とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく、クラブ細則に修正を加える。
- ⑦クラブ会員の親睦を、さらに深めるような機会を提供する。
- ⑧会員全員がクラブのプロジェクトや業務に活発に関与するよう計らう。
- ⑨包括的な研修プランを立案する。

クラブ指導者は、プランがクラブの目標に独自性を反映させたものであり続けるよう、毎年検討しなければならないといわれています。また、みなさんのご意見があればお聞かせください。これでクラブフォーラムを終わらせていただきます。ありがとうございました。

